



## 「安心」と 「セーフティネット」が 構築された社会を めざします!

参議院議員 あいはらくみこ

昨年末の衆議院総選挙で安倍政権が継続される結果となり、本年1月末より第189回通常国会が開催されています。過日行われた補正予算審議に引き続き、今後は本予算の審議が進められる予定です。「決算の参議院」と言われる我が院では、財政統制の充実・強化の観点から決算委員会での充実審議を予算委員会と同時並行で進めます。

私は今回、決算委員会の筆頭理事の任についていますので、1月28日の本会議において、平成25年度決算に係る代表質問をさせて頂きました。本来、予算というのは、私達の社会の「安心」と「セーフティネット」を如何に効果的に支え、公平性を保つかで編成されなければなりません。決算委員会においては、その観点から審議を行い、次期予算に反映するという役割を持っています。

そのような視点から、今回の代表質問は、①安倍政権になってから編成・執行された平成25年度予算が過度に公共事業重視となっていること、その弊害が国民の借金増に繋がっている点、過去の政権から引き続き財政再建をどのように実現するのか、②「アベノミクス」経済政策は富裕層優遇の政策であり、結果として格差が拡大している点、③地方の疲弊は、過去の自民政権が中央集権を進め地方に財源・権限を移譲してこなかった結果である点、④総理は、雇用が増えていると喧伝しているが、実態は正規雇用が減少して不安定・低処遇の非正規労働者が増加していることの問題点、⑤「生活保護受給者の生活扶助費引き下げ」の結果と今後の影響、⑥子どもの貧困の実態と対応策等々について質しました。しかし、地方自治体への自由度の高い交付金を拡充していくことについては一定の答弁がなされましたが、多くは実態を認識しようとする姿勢が乏しい態度でした。

野村総研が2月にまとめた消費者アンケートでは、アベノミクスによる景気回復を「全く実感していない」との回答は全体で34.3%であり、地域別でも地方と都市の差が大きく、正規と非正規でも実感に大きな格差があることが報告されています。これが実態であり、この状況は今後の日本社会の有り様に大きく影響を与えることは必至です。これを改善するためには、与野党問わず現状をしっかりと捉えることが必要であり、それに対応した施策を求め、がんばっていきたくと考えています。



2014.12~2015.2

# あいくみ、国会レポート



昨年末は衆議院総選挙を経て慌ただしい年末でした。  
1月末から始まった通常国会、気持ち新たにスタートです!

<http://aikumi.info>



12月、衆議院総選挙の応援で全国各地にお邪魔し、あちらこちらで仲間の皆さんから熱い想いをいただきました!



12月19日、自治労社会福祉評議会施設部会のみなさんから、児童養護施設全般についての要請を伺いました。



1月18日、民主党臨時大会で岡田新代表を選出。皆さんの声に応え得る党に成るべく、一致団結して頑張ります!



1月28日、参議院本会議で2013年度決算に対する代表質問。決算審査を通し、予算の在り方を問い質していきます。



1月31日、「自治体に働く非正規問題を考える連合古賀会長との対話集会」に出席。格差社会を正していきます!



2月4日、自治労協力国会議員団会議で団長に就任。新たに政策協力議員が加わり、衆参あわせ15人の布陣です。

## 「えさきたかし」参議院議員の擁立決定!



### 江崎 孝●プロフィール

1956年福岡県生まれ。法政大学社会学部卒業後、旧三橋町役場入職(現柳川市)、三橋町職労書記長、福岡県本部書記長、自治労中央本部労働局長を経て2010年参院選全国比例で初当選。現在、参議院総務委員会、決算委員会、地方・消費者問題に関する特別委員会(理事)を務める。



1月29日、30日で開催された自治労第148回中央委員会において、来年夏に予定される2016年参議院議員選挙で、「えさきたかし」参議院議員を自治労組織内議員として二期目の擁立することが決定されました。

「えさきたかし」さんは、自身の自治体職員や労働組合運動の経験を活かし、2010年の当選から走り続けています。私にとりましても、生活者・働く仲間の声を政策に反映させていくための闘いには欠かせない、大切な仲間です。

「えさきたかし」さんの再選を期すため、まずは、今春の統一自治体選挙における勝利をめざします。憲法改正に意欲を燃やし、働く者の生活を顧みない政権と対峙するため、ともに闘いましょう!

